

令和5年度広島の拠点性強化に向けた懇話会 開催記録

1 開催日時

令和5年11月10日（金）15:00～16:40

2 開催場所

広島市役所 本庁舎10階 市長応接室2

3 出席委員（順不同・敬称略）

芦谷 茂 中国経済連合会会長
池田 晃治 広島商工会議所会頭
武田 龍雄 広島経済同友会代表幹事
西川 正洋 広島県経営者協会会長
越智 光夫 広島大学学長
若林 真一 広島市立大学学長
矢野 泉 広島修道大学学長
松井 一實 広島市長

4 議事内容

広島の拠点性強化に向けて（地域経済の持続的な成長を支える産業人材の確保・育成について）

5 主な意見等

- ・ 共助による第一次産業への支援や社会貢献は、企業としても賛同できる取組であると考えており、例えば、定年後の契約社員（60～65歳）のように、経験豊富でリーダーシップがある人材を対象として、そうした働き方を社員に提案することは可能ではないかと思う。
- ・ 複数の企業で働けるようにすることや「ひろしま LMO」の取組については、以前からそのような仕組みができればと考えており、賛成である。行政としては、こうした取組を進められるよう、プラットフォームを作ることが必要ではないかと思う。
- ・ 各企業が企業価値を高める中で、社会貢献はキーワードであり、そのために、社員に第一次産業や地域活動に参加することを認めるということは有り得ると思う。しかし、大企業でも人手不足の状況はあるため、長期に渡って社員を送り出すとなると難しいのではないか。
- ・ 共助の精神は大切であり、第一次産業や地域で活動できるようになることは非常に良いことだと思う。企業間でとなると守秘義務の問題もあるし、本業で専任してもらいたいといったこともあって難しい部分もある。
- ・ 第一次産業の持続性を高めるためには、働き手不足への対応に加え、一定の利益が確保できるような対策を講じる必要があるのではないか。